

磐城時報

日刊 二月十日
編輯 藤田 弘成
印刷 藤田 弘成
社 磐城石城郡平町野崎十四
支 磐城石城郡平町野崎十四
一 部金銀 一月金銀拾圓
廣告料 一行十四字 一月金銀拾圓
日刊 (日曜 祭日) 休刊

大敷網争ひに 和解の勧告

あす双方を招致して 裁判所側の方針決る

小名濱町大敷網問題は既報の如く、両者の紛争激化した。白井側では権利の主張として高橋側の事業停止、漁具の差押へを平區裁判所に申請したが裁判所側では該申請を非常に重大視し慎重の態度をとつてゐる。裁判所側の態度如何は本縣漁業界に重大な影響を及ぼすので命令書を出して和解を促すことになり、明日十三日白井、高橋両者を裁判所に招致して妥協の一致点を見出すことになつたが、十三日の両者意見は頗る注目される。

経営費が少なくて 仕事が出来ない

縣下職業紹介所長會議に 平町から國庫支辨案提出

不景氣と失業者とは常に正比例に職費の國庫支辨を提して増加して來るので平職業紹介所では求人が不足してゐるが、所員の焦つてゐる。平町の火災保険料は大正十一年割合に成績があがらず困つてゐる。これは要するに一般民衆が職費の職能を充分知悉しない結果である。平職業紹介所ではこの点を知られてゐるが現在赤井縣中野甲藏、井上貞治郎諸氏が東京火災協會、仙臺地方協會などへ奔走交渉してゐるが今度の引上げにより一十萬圓の火災保険契約高を持つ平町は二萬圓の保険料を多く負担することになる。平職業紹介所ではある程度まで拓が不充分となる原因である。余興として藝妓の手踊

保険料の 引上げ運動

平町の火災保険料は大正十一年割合に成績があがらず困つてゐる。これは要するに一般民衆が職費の職能を充分知悉しない結果である。平職業紹介所ではこの点を知られてゐるが現在赤井縣中野甲藏、井上貞治郎諸氏が東京火災協會、仙臺地方協會などへ奔走交渉してゐるが今度の引上げにより一十萬圓の火災保険契約高を持つ平町は二萬圓の保険料を多く負担することになる。平職業紹介所ではある程度まで拓が不充分となる原因である。余興として藝妓の手踊

赤井嶽道路 縣道編入陳情

赤井嶽道路は石城郡内の名刺とて、之は十日忠魂祭に盛装して來た人が泥酔して遺失したものを拾つた。拾得者は十一日早朝平町南町地内に勤七等青色桐葉章が遺失したのであるのを発見平署に届け出て、赤井嶽道路は本道となつてゐる。春の遺失物である。

平消防組の 觀櫻會

八日午前七時半平町八幡小路グランドに集合し二十日に舉行される聯合消防隊の豫習を行ひ午後三時半から松ヶ岡公園第三公園で盛大な觀櫻會を催す等であるが、余興として過般本社

八日午前七時半平町八幡小路グランドに集合し二十日に舉行される聯合消防隊の豫習を行ひ午後三時半から松ヶ岡公園第三公園で盛大な觀櫻會を催す等であるが、余興として過般本社

春らしい拾得物 流れて來た掛時計

昨十一日午前十時頃平町南町裏新川の流れて來るのを元郡役所前計が流れて來るのを元郡役所前と立派な時計であるため平署に届け出て、時計が流れてくるとは合点がいかぬ事なので平署でも不審がり水を取つてねじを巻いたところ一分も違はぬ時計、どうしたわけかと署員一同呆氣にとられてゐるとは珍らしい拾得物であるが、こゝに又面白い拾得物は十一日早朝平町南町地内に勤七等青色桐葉章が遺失したのであるのを発見平署に届け出て、赤井嶽道路は本道となつてゐる。春の遺失物である。

姦通を摘發して 法學士(自稱)が脅喝

東京市本所區押上町生當時小名吉(五四)が同字吉田竹松妻吉田濱町居住自稱法學士大澤清(二シ)(四八)と醜關係を結び密會り當日は消防組員の家慰安會(四)は江名町大字江名中島源吉(四八)と共謀し九日江名町大字仲ノ作字川岸三十二番地伊藤長

猪狩署長表彰

武徳猪狩署長猪狩成績は武徳功勞受領した事を奉署で探知し平署開く等て講演者は代議士文學博士木村一組を贈られた。

平町附近の地形 地質學的考察數項

懸谷はかけひの水の如く、木の間にたつた流れ出で、春の岩つらじ、秋の紅葉と和し警城の絶景地としては誠に遜色のないものと思ふ。たゞ管つて、警城耶馬溪の語で、この溪谷を呼んでゐる人があつたらば、全く惜しむべきで、岩石の種類も全く異なり、侵蝕の課程も自づと差異を生じ耶馬溪の奇はこれにせよ、この溪谷には、この溪谷として獨特の様式をもつてゐることを郷土の人々は、愛さなくてはならぬと思ふ。割合に谷は深く、高原面に近くなるの

人力車挽子總會

張關係者の取調を行つた。町人力車挽子共濟會總會は十二日聚樂館に開き各種の協議をした。

民 謠

小名濱町にて M 生
一、おらがお主は 今日船出
二、おらがお主は 今日船出
三、おらがお主は 今日船出
四、おらがお主は 今日船出

椎尾博士の講演

平町十三日會主催講演會は十三日午後八時頃平町元石城郡役所に講演者は代議士文學博士木村一組を贈られた。

藤田校卒業式

平町藤田女學校第三十八回卒業式は十二日午前九時から舉行したが卒業生氏名左の如く尙ほ十三日から三日間は生徒の製作品展覽即賣會を開く筈である(◎印は優等生)

▲高等女學部 井戸川末子、和田イチヨ◎金子スミ子、高林あい、高木浦子、直井ハツイ、永山サツ、永山亥久子◎松波隆子、阿部貞子、淺野タヘ、佐藤ヤス◎齋藤ヒデノ、四家ハツイ、平山シゲ◎鈴木春子、鈴木あやの、猪狩ヒデ子、泉屋、伊勢、京都、奈良で今年は

▲磐城高女旅行 磐城高等女學校では四學年生徒の修學旅行を二十五日より八日間行ふ旅行先は鎌倉、江ノ島、名古屋、伊勢、京都、奈良で今年

三森チヨ◎四家好子、鈴木キヨ、鈴木サダ子、鈴木サツヨ、鈴木タケ子

▲裁縫教員養成科 永島綾子

▲湯本分校裁縫女學部 ◎長谷川ひでよ、根本マツエ、山野タマキ、鈴木多喜代、江尻力代、鈴木美代、島田セイ

▲江名分校裁縫女學部 ◎吉田コウ、田村ヨシ、坂本コト、白土アキ、小泉愛子

春の品芳
飲質醇
樂本銘
の位酒

白馬の御用命
の程願
上ます

辰ノ口本家

平窪 松本徳一
電話(平)七五二二番

登タマヨ、岩間ヨネ子、猪狩キヨイ、猪狩ヤスヨ、波立ミトリ、細谷フジ◎本間ソネヨ、布川タキ、大平一三◎小野瀬ヨネ、小田よの、和田サヲ子、渡邊ハル子◎菅野キヨ上遠野キヤ吉村美子、吉田ナヲ、田山チエ◎高萩幸子、大樂ソヅ子、長澤タマ、鶴沼キミ、鶴沼ヨシエ、草野ミエ子、草野タケ子、矢吹アキ、矢吹リウ、山口ラ子、柳井ヤン子、馬目喜代、松本チイ子◎馬目ミヨ、古市チヨノ、阿部ハル子、阿部ヨシ、青木トミエ、阿部美彌子、青木ハマ、酒井ヤエ、佐藤リン、佐藤キミ子、木田シウ、木田タカ子に捕はれた。

▲七福會觀櫻會 平町七福會では十三日平町松ヶ岡公園に於て花に魁して盛大に花見を催すことになつたが今年最初催しである。

飲食店から
寝巻を盗む

茨城縣多賀郡豊浦町字川尻鈴木文吉(二一)は十一日夜内郷村大字宮飲食店藤沼三造方に登樓して寝巻を盗んで逃げた處を平署に捕はれた。

突如十二日ヨリ
公開の期待篇

マキノ西條照太郎作品
月形陽侯超特作!

救ひを求むる者

流行小唄映畫超特作
可憐夢路小夜子主演

君戀し

レフエーの巨星
獨唱 ○○○○出演

帝キネ超特作
劍王市川白々之助大熱演
決死的撮影記念

白蟻 十五篇
新案無念無想横一文字の構
ヨルあります 有聲座

鳥柳 井川
節御料理

仕出しは迅速配達致します
平町南町平館隣り

蒲焼 魚 榮

電話四二四番

共同貯蓄
貯蓄の味趣
堅意誠

磐城無敵會

内所取所ル三
リア所扱取所ル三
1サ下込申モテ時何
スマリ蒸ワ節會ズエ絶

耳鼻咽喉科

平町仲田町七一

新築 津醫院

電話五九五番

第三回謝恩特別三大白眉公開

四月十一日 替御案内

▲松竹名番 原作前田孤泉 林長二郎、千草晶子
新譯 切られ與三 全

歌舞伎の興三を裏切り新譯になる本篇こそ松竹時代映畫の白眉

東京、大阪毎日新聞所載 原作三上於菟吉

後篇 激流 全

高木永二、中野英治、岡田時彦、入江たか子、小杉勇、島耕二、夏川静江、三樹登

原作 志波西果 ▲山本嘉一、松本泰輔

明治の創め近畿に起る血涙悲壯なる史實を映畫化するもの……山内容堂公を中心とし國難外交たれが此國難を救ふ……見よ明治外交の鮮血史よ……

た節旬(三月)ヒル 土日曜 平館

普通席 金十錢(爲謝恩)

支那六神丸

特約店 平町五丁目 山野邊藥局

外科 専門

光線科

上田外科醫院

電話一二九番

本校年中行事の一であります

卒業製作品展覽會 開催

一般在校生製作手藝品バザール 開催

藤田女學校バザー

一、期日 四月十三、十四、十五日(午前八時午後四時迄)

二、品目 縮緬重物、各種手藝品二千余點

裁縫物 刺繡應用 造花 クレープペーパー
マクラメ細工 小細工物 其他編物各種

◎外に生花陳列會、詩南社の書畫展覽會も有ります

福島縣平町(電話三二八番)

文部大臣 藤田女學校々友會
認可 誰人も是非御來觀下さい

セキヤ草 祛痰 鎮咳液

特約店 關内藥局

平町四丁目 電話四〇番

進級と入學に

學生カバン

學生ボース

女學生用手提鞆
商業學校指定の
特製手提げ鞆

平町四丁目
ツルヤ商店
電話百四十番